

H29-11-8 (水) 沖縄県名護市 金融・情報特区事業について

名護市のイメージは、ほとんど淋しいところ、どこかな？ 沖縄本島にあり、那覇から少し遠いと思えば、何人か中央部から、むしろ北部に位置するという事なと。空港から高速道路で1時間の場所か。名護の中心市街地とは反対の東の山間部に、今日の目指す、214X行館がある。名護市自身は、東には、太平洋方面には、東に海に面している。人口は、624人余で、高齢者人口が増加するのと、生産年齢人口が減っており、少子高齢化が進んでいる。若い人の地元離れが多く、大学を「県外に出るときの目」東京、大阪で就職してしまったり、地元へ戻って来ないということが、現実となっており、こゝと打闘する為、市長が、アライメント視察に行き、IT産業の発展例を見て、何人か、地元の若者と、地元で定着させることには出来ないか、地元へ戻って来ることか、出来ないか、との思いが、平成14年に、金融・情報特区の認定を受け、特区の指定により法人税の減免などの優遇措置などの効果で、雇用は、増加した。完全失業率は、H12年10.0%であったが、名護市が、H27年には、5.1%と下がった。沖縄本土の北部が、悪くなった。今や北部の中核的役割をこなしている。何故名護市が、この特区に指定されたか、という事であるが、日本内陸から海産資源などが取れるため、香港、シンガポールなどへの経由地であるという条件で、金融通信のインフラが、出来ている。又地殻が、本土と異なるので、地震対策としても、同じ危険とはならないという地の利もある。NTTの104番が、第1号と12進出してきた。H29年9月末で、進出企業数が40社、雇用創出数が、1093名とされている。このように、雇用も多くなったものの、このところの好景気で、全国展開の外資系企業の人手不足による時給のUPが大きくなり、アルバイトの方が有利になる。進出企業の雇用につながる率も発生している。又進出企業が中小企業であるのは、大手の一部門だけであり、法人所得税の40%控除の優遇を受けられない。つまり本社の物販までしないという特徴もある。214X行館も1号館から今5号館の建設も行って徐々にIT企業の集積が進みつつある。税金の街での特区は、考えられるか、地域の創生として、今後も政策として、進展して、地方創生の一助となるものであることの実態を学んできた。

H29-11-9 ~ 11-10 全国都市問題会議

今年のテーマは、沖縄県那覇市での開催とあり、テーマが

「ひととつながる都市の魅力と地域の創生戦略」と題して、

「新しい風をつかむまちづくり」であった。基調講演の中で、参加者への話があつた。単に地方の発展が、江戸へ行って行くのに、大人教の供を従えてゆく。税額が数百人に達し、その経済効果は多大なものである。

かそれだけでなく、夫々の地域との交流が行われ、このことがひととつながりをもたらし、自分の地域の歴史を伝え、又その地域の特色を知り、持ち帰って、発展のために努めよう、という歴史があつた。

那覇市長の講演は、「新しい風をつかむまちづくり」と題して、市の現状について話された。ひととつながりをもたらし、「めんそーれ」を合言葉に

おこなうこととした。人口密度は、大変高く、政令都市として千歳国であり、

復帰45周年を迎えて、交通渋滞が多くなり、沖縄バスが欠けて乗れない、

などの、又海外客の増加は、新しい風が吹いてきた、これに対応するためには、

必要だ。「人とつながる」、「人とつながる」国際化の対応が大きな課題である。

等の喫緊の課題となっている。他方、長寿県と言われ、健康寿命が延びて

行くに、近頃は、環境整備など、人とつながり、ボランティア活動など、

積極的に努めている。琉球大学の教授の講演で、沖縄の県の歴史的事柄

の報告の中に、大隈と中川が考えた時、その面積は、東は神奈川、西は長崎県、

南は大東島から那国島まで、のびて持ち、49の島々人が住んでいる。大きな

ものであり、沖縄本島とは、異なる夫々の島の生い立ちがある。住民が、観光

に對して、どのような関心を持っているのか、等の課題があるという。

釧路市長、勝山市長、島田市長の報告があり、夫々の課題とかが、之中で

素晴らしいリーダーシップを発揮している。印象が強くした。笑顔に立つ者

が、引くはる事が、大きく求められる。この中で、先、沖縄文化芸術振興法、

一人の人が言う。エッちゃんからキッちゃんを育成し、人材は、いける。人材

不足、住民が自分の事のように考えてもらう市民を作る事が、必要で、

要望型より提案、提言型へ、中間セクターの人材育成、干渉型からして、

走らない人を走らせる仕掛けが必要。SNS、口伝は、必要、これは、SNS

型での住民自治が求められてくる。正にその通り、20年以内の先進地例など、等の

の多し、テーマであった、

知立市議会